

整 形 外 科



1. 整形外科の紹介

愛媛大学医学部整形外科科学講座は1976年4月1日に開講し現在、第5代教授高尾正樹先生が主催しています。主として股関節・膝関節・肩関節・足関節などの関節外科、脊椎外科、骨軟部腫瘍を診療しています。また、外傷・リウマチ性疾患・リハビリテーション・手の外科・小児整形外科等も積極的に診療しています。2020年よ

り再生医療であるPRP (platelet-rich plasma) 外来も開設しました。人工関節手術は年間約350例行っておりC A S (computer assist surgery)やM I S (minimum invasive surgery) を導入し、精度が高く、負担の少ない手術を行っています。

2. プログラムの目的と特徴

初期研修終了後は、当講座を基幹とした愛媛大学整形外科専門研修プログラムに所属し、4年間で整形外科専門医を取得していただきます。その間に、成人と小児の整形外科と災害・救急外科の研修を通じて、全身管理能力と治療法の選択能力・治療技術の獲得を目指します。具体的には1年間の大学での研修と3年間の関連病院で

の研修を行っていただきます。特徴的な研修としては、手術手技向上のためにご献体を用いたトレーニングセミナーを開催しています。脊椎、膝関節、股関節、外傷などのトレーニングセミナーを大学内のみならず、連携病院の医師も参加して行い手術手技の向上を目指すことができます。

3. 経験目標

- ・整形外科疾患に特有な愁訴と性質を理解した病歴をとることができ、基本的な診察ができる。
- ・骨関節のX線像について正常と異常を鑑別できる。
- ・関節注射、硬膜外注射、神経ブロックの適応を理解し、実施できる。
- ・骨折、脱臼の整復固定や、開放創、開放骨折、多発骨折の初期治療が行え、合併症に適切な処置ができる。
- ・局所麻酔、伝達麻酔が実施でき、腱鞘切開、減張切開、創縫合ができる。
- ・整形外科患者の術前、術後の適切な全身管理ができる。
- ・機能障害、能力障害、社会的不利について理解し、何が患者に必要なかを判断し対応できる。

4. 指導医と指導体制

教 授	高尾 正樹	関節外科
地域医療再生学講座教授	間島 直彦	関節外科 骨延長
救急航空医学講座教授	竹葉 淳	救急外傷
准教授	木谷 彰岐	骨軟部腫瘍
関節機能再建学講座准教授	日野 和典	関節外科
講師・医局長	藤渕 剛次	骨軟部腫瘍
講 師	日野 雅之	脊椎
助 教	鴻上 繁	リハビリテーション

助 教	忽那 辰彦	関節外科
助 教	清松 悠	上肢 関節外科
助 教	山岡慎大朗	脊椎
助 教	見崎 浩	脊椎
助 教	渡森 一光	関節外科 足の外科
助 教	村上 悠介	脊椎
助 教	津田 貴史	関節外科
助 教	木下 智文	関節外科

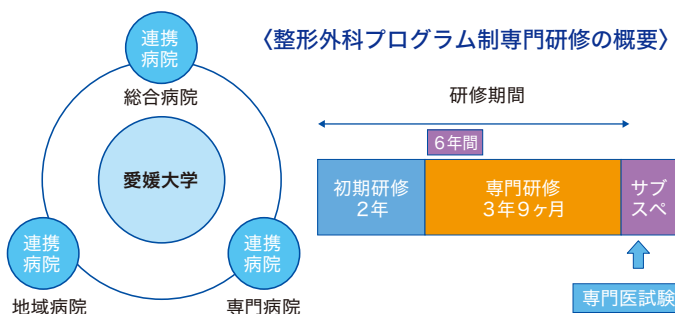
5. 研修に関する行事

	月	火	水	木	金
AM	術後カンファレンス／外来・病棟業務	外来	外来・病棟・手術	外来・病棟・手術	外来・病棟・手術
PM	術前カンファレンス／回診	病棟業務			

6. 新専門研修プログラム

4年間の研修プログラムの間に愛媛大学で1年間、関連病院で3年間の研修を行います。愛媛大学整形外科のプログラムでは、教育に十分な手術数・外来患者数・指

導医数をそろえています。愛媛県の地域枠の義務年限消化についても最大限の配慮をいたします。



7. 専門研修修了後について

基本領域の専門医を取得した後は領域専門医(subspeciality)の研修及び受験資格を得ることができるようになります。整形外科関係での領域専門医には脊椎脊髄外科と手外科専門医・リウマチ専門医・リハビリテーション専門医があります。また本人の希望に添っ

て、各専門分野の研修や大学院への進学をしていただきます。地域枠の義務年限消化についても、本人の希望を踏まえて、キャリアアップができるように関係機関と協議いたします。

8. 専門研修の問い合わせ先

担当：藤渕剛次（講師）

TEL：089-960-5343

E-mail：orthop@m.ehime-u.ac.jp

